

4月 定例役員会議事録

I. 日 時 平成 29 年 4 月 22 日 (土) 午前 9 時 30 分～13 時 00 分

II. 場 所 福祉センター A・B 会議室

III. 出席者 幹 事 20 名 岡、屋代(昭)、飯塚、廣山、桑原、小野、山本(修)、古川、
数井、屋代(か)、水落、関口、岡崎、石川(早)、伊藤、
石川(和)、斉藤、松川、押山、松浦

監 事 4 名 小林、中島(泰)、藤田、古園井

事務局員 1 名 石川(記録)

(敬称略)

会長より

- ・ 決算については、中間で一旦戻ったことにより、金額が残額と合致しました。
- ・ 予算については、各常設委員会、特別委員会のご協力のもと、見直しができました。
- ・ 決算、予算の書式を、理解しやすくする為に改めました。

1. 確認事項

◆3月役員会議事録の確認

異論無し。

2. 報告事項

1. 各委員会活動報告

①地域環境委員会(飯塚)

- ・ 木の伐採に関連して、住民よりクレームがあった。公社に対し、今後は事前に連絡を頂けるよう依頼。
- ・ 住宅福祉学園より3幼稚園の建て直しの打ち合わせを行った。平成30年度より中央幼稚園を手始めに、3年で3園を建て直す予定。今後、セットバックなどの課題は相談しながら行う。
- ・ 児童公園は今後10年で市に移管し、区が管理する予定。

②コミュニケーション委員会(関口)

- ・ 地域デビューに関して、10月の音楽祭を中心に進めたいと考えているので、他の委員会の協力をお願いしたい。

③地域連絡協議委員会(桑原・小野)

- ・まちづくりに関して、市の協力を得て進めたい。そのために都市整備局地域まちづくり課と打ち合わせを行なった。その際、磯子区の担当である区政推進の方にも入って頂いた。

趣旨

- ・汐見台の将来像について、皆の共通認識を持つ必要がある。
- ・都市計画変更ありきでは考えていない。
- ・管理組合役員、自治会長に出席を求め、議論を行ないたい。
- ・守るべき環境、現状の問題点を議論し、団地開発の経緯を含め、結果を広く伝えたい。

市の方からの意見。

- ・汐見台の将来像について、皆の共通認識を持つ必要がある。
- ・都市計画変更ありきとしない。
- ・あともどりのない → 議論の蒸し返しがないように。
- ・開発、管理の経緯を考えると、県公社が入る必要がある。
- ・次回打ち合わせは6月頃。

会長より

- ・3者協定があるので慎重に。
- ・知らない方に広めていくのが目的。

④子どもはぐくみ委員会(屋代)

- ・エコパトロールに参加した子どもに缶バッジをあげることを検討している。

⑤行事委員会(山本)

- ・8/26 夏祭り、10/15 健民祭、1/7 賀詞交換会、開催予定。
- ・駅伝大会(日程未定)の参加費用負担を中止。
- ・健民祭の実行場所である小学校のスケジュール確保を早めに。

⑥防災・防犯委員会(伊藤)

- ・石川主導で行っている。打ち合わせを行わないとまずいのでは？

⑦スイッチ ON(數井)

防災・防犯委員会との打ち合わせを希望。

⑧福祉実行委員会(石川(早))

5月に講演会、6/11に「ふれあい寄席」を予定している。

⑨事務局(飯塚)

資料2 定期総会次第

- ・最終決定ではない。
 - ・活動報告は旧役員。
 - ・欠席の場合は代理を出して欲しい。弘田、内藤 → 出欠の確認
- 活動計画は新役員。

中島(正)は欠席なので、前半は関口、後半は飯塚が行なう。

自治会長の出欠は5/10ㄨ切。議長選任は事務局一任。最終決定は5/15の配付で届く。

訂正・受付(誤)岡崎 → (正)(屋代(か)を◎に。

- ・小林は欠席。
- ・自治会長の席札。役員は椅子のみを用意。
- ・5/20シミュレーションする。役員会で

資料3 行事一覧

行事が重ならないように年間行事をまとめた。改善の余地ありなので、意見をください。

その他

石川(早) Q:定期総会時の案内は誰が?

A:席までの案内はしない。席札を見て座ってもらう。

行政部会

民生委員・児童委員協議会(屋代(昭))

記載の通り

スポーツ推進委員(山本)

記載の通り

環境事業推進委員、青少年指導委員、保健活動推進委員

役員としては辞退する。

資料4 表彰

自治会副会長を10年以上 → 鈴木

3月末退任で役員を5年以上 → (石川(和))

が表彰対象なので申請する。

資料5 会計処理（小野）

既に、28年度決算、29年度予算に一部を除き反映されている。

（骨子）

- ・ 会計を①一般会計、②福祉実行委員、③スイッチON特別会計の3つに分ける。
②、③は主に（社協、区役所）からのお金がメインの為、別会計にする。
- ・ 監査を3つそれぞれについて行なう。
- ・ 補助金などは①を経由せず、直接各口座へ入金してもらい、連合会からは拠出金のみ。
- ・ アスクルなどの処理は①で行い、精算をする。
- ・ 行政部会、部会のうち連合会から援助金を拠出しているところは収支報告書の提示を求める。
ただし、外部へは開示しない。

廣山

従前、数字が合わなかった理由

- ・ 事務作業上のミス
- ・ 従来、繰越金の算出を未収金と前受け金を考慮していた。
- ・ 特別会計が渾然一体となっていた。

改善点

- ・ 各委員会の予算消化状況を把握できるようにする。
- ・ 今年度から現金主義に基づく会計処理を行なう。
- ・ お茶代、コピー代を事務局へ移管する。
- ・ 会計の新システムを導入する。（上半期に完成予定）

会長：今後、新しい方針で行なう。

提案は、既に3つに会計を分けているなど、基本的な趣旨は反映している。

小野：方針について、役員会で再確認して頂きたい。

廣山：年度の表記 コンピュータの処理上、元号を使わず、西暦で統一したい。

中島(泰)：スイッチ ON 会計、福祉実行会計については、補助金が出ている以上、外部に対しての監査の責任があると思うが、責任を持ってない。

→ 従来は1本で会計報告を出していた。その中には、スイッチ ON 会計、福祉実行を含まれており、それらを含め監査をしていた。考え方は従来と何も変わらない。また、連合会の一組織である以上、監査の必要があるが、対外的責任まで負うものではない。

審議事項

1.平成29年度定期総会資料確認

- ・資料の表記方法などについて、指摘があった。修正を行うが、反映結果は事務局で検討する。
- ・今年度予算案について、赤字の予算となっているが、予算執行にあたって、極力赤字を少なくするようにしていく。
- ・予算案の承認　ただし、反対票あり(小野) 赤字予算であるという理由。

2.事務局備品の貸し出しについて

事務局より備品（放送機材、プロジェクター）を貸し出しているが、貸し出しのルール策定についての提案があった。

基本的ルール

1. 貸し出しの期間

原則として、使用日当日に貸し出し、返却とする。ただし、事務局の開局時間の関係で難しい場合は前日貸し出しや翌日返却を考慮する。

2. 貸し出せない日

定例会の日は貸し出しを行わない。

3. 使用場所

原則として、汐見台福祉センター（事務局のある建物）、および汐見台会館とする。前日貸し出し、翌日返却などの場合、自宅への持ち帰りを認める。

4. 動作確認

貸し出し時、返却時に、借りた人の立会いの下で、動作確認することが望ましい。

5. 禁止事項

又貸しは認めない。

以 上